

学校法人聖ヶ丘学園 中長期計画

第1期 2023年度（令和5年度）～2027年度（令和9年度）

はじめに

本学園を取り巻く環境は急速に変化しており、特に少子化の影響は極めて大きなものがあります。専門学校への進学者の多くを占める18歳人口は、1992年度（平成4年度）の205万人をピークに減少を続け、2009年度（平成21年度）から2020年度（令和2年度）まではほぼ横ばいの120万人で推移したものの、その後再び減少傾向となり、2040年度には88万人との予測となっています。また、2022年（令和4年）の出生数は、80万人を割りそうであり、減少ペースも加速しています。横浜市内でも少子化が進行し、幼稚園及び保育園等の定員割れが顕在化しています。この厳しい環境の中、本学園の聖ヶ丘保育専門学校は、2025年（令和7年）に創立90周年を迎えますが、それ以後、社会の期待に応えて、責務を果たし、創立100周年、その次の200周年に向けて更なる発展を続けていくためには、中長期的な展望のもとに計画的に学園の運営を遂行していく必要があります。

このような考えのもとに、本計画中の施策は、この5年間で完結するものばかりでなく、5年を超え長期にわたる施策も含まれ、本学園の取り組みを厳しく点検、評価しながら、新たな課題に適切に対応し、本学園を一層発展させることを期して、中長期計画を策定しています。なお中長期計画は、5年を通して毎年達成すべき「基本事項」、5年又は5年を超える期間を通して達成すべき「重点目標」、及び重点目標を達成するための評価可能な「具体的目標」から構成されています。

第1 学園の理念

1 建学の精神

聖ヶ丘保育専門学校の前身で1935年（昭和10年）に横浜東本願寺境内に県下唯一の優れた知徳を備えた保母を養成する場として創設された「横浜聖徳保母養成所」の創立者である鹿野久恒師が掲げた子どもと保育する者を称え、幼児教育の重要性等を訴えた理念である「国を動かす者は、揺り籠の中に在り」「揺り籠を動かす者は、世界を動かす」を本学園の建学の精神として引き継ぎ、「つよく やさしく 美しく」を教育の根本として「知・徳・真・善・美」の備わった人間性豊かな社会人の育成を目指します。

つよく 「使命感・責任感」を表しています

やさしく 「共感・思いやり」を表しています

美しく 「正しいもの・美しいものを愛する感性」を表しています

2 使命（ミッション）

本学園は、建学の精神のもと、次世代を担う乳幼児の教育・保育を幼稚園及び保育園で行い、保育者不足を解消するための幼稚園教諭及び保育士の育成を専門学校で行なうことで、我が国や地域社会が持続的に発展するための重要課題である「待機児童問題」、「共働き家庭の支援」及び「少子化問題」等の解決の一助となるよう横浜市・神奈川県を中心に寄与します。

3 将来像（ビジョン）

聖ヶ丘保育専門学校と育和幼稚園が1959年（昭和34年）に現在地へ移転して以来待ち望んだ新線が2023年3月に開業し、羽沢横浜国大駅周辺とその沿線の地域社会において大きな発展が見込まれます。その発展とともに、本学園の設置校及び設置保育所が更なる発展と持続的な運営を行なうには、募集と人材確保を常に両立することが必要不可欠であると考えています。因って、本学園は「園児、生徒、学生、保護者及び地域から選ばれる学園づくり」を目指します。

第2 学園の目標

1 建学の精神と各理念、各方針を踏まえた教育又は保育の実現

各設置校及び設置保育所が建学の精神と各理念、各方針を踏まえた社会に貢献できる人材を育成する教育又は保育を適切に行います。

2 各設置校及び設置保育所の特色と強みだけでなく、新たな特色を追加しながら Web による情報発信の強化

SWOT 分析による各設置校及び設置保育所の特色と強みや日常の活動等を Web により情報発信する。情報発信機能が不十分なホームページを3年以内にリニューアルし、更に競合他校や他園との差別化を図るべく特色を増やす取り組みを継続します。

3 ガバナンス・経営基盤の強化

定員充足並びに財務基盤の健全化を達成し、学園の存続と発展する体制の確立を目指します。

4 園児、生徒、学生、保護者、保証人及び地域とのコミュニケーションの充実

教育・保育と財務の観点から情報開示を行い、地域社会等への貢献を積極的行なうとともに外部資金や寄附金の獲得に努めます。

5 ファシリティマネジメントの取り組み

本学園が所有する施設、設備及びその環境等を維持・保全することだけでなく、維持費の

削減や省エネルギー等更に良い在り方の実現に向けて最適化することを目指します。

第3 各設置校及び設置保育所

1 聖ヶ丘保育専門学校

(1) 教育理念

建学の精神のもとに校訓に「つよく やさしく 美しく」を掲げて「知・徳・真・善・美」の備わった人間性豊かな社会人の育成を目指しています。

(2) 3つのポリシー

ア アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本校の前身である「横浜聖徳保母養成所」の時代から建学の精神として綿々と引き継がれている教育理念を理解し、校訓に掲げる人としての資質を磨き、人間性豊かな社会人として将来活躍したいと考えている人、そして使命感や責任感、共感や思いやり、正しいものや美しいものを愛する感性を有する人に集まっていただきたい。聖ヶ丘の教育全体の中でこうした人材の育成を目指しており、教職員と学生、学生相互の信頼関係を築き、コミュニケーションを大切に学んでもらいます。互いの人格を尊重できる人の入学を期待します。

イ カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

本校では、その教育理念に基づき有為な幼稚園教諭及び保育士を養成するため、教育・社会福祉専門課程に第一部及び第二部幼稚園教員・保育士養成科、第一部保育士養成科を置き、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

(ア) 人権尊重の教育の推進

(イ) 質の高い教育の推進

(ウ) 開かれた学校の創造

(エ) 安全・安心な学校作り

(オ) 実習と教科指導を重視したカリキュラムの編成及び実施

(カ) 学生の個々の課題に応じたきめ細かな指導・助言・援助等

ウ ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士授与に関する方針）

本校では次のような能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

(ア) 第一部及び第二部幼稚園教員・保育士養成科

a 2年間又は3年間のカリキュラムの履修を通し、教育者及び保育者としての使命感と人間愛に支えられた知識及び教育・保育の専門家としての能力を身につける。

b 音楽、造形及び身体等の表現を重視したカリキュラムの編成により、教育・

保育の現場で必要とされる技能及びコミュニケーション能力を身につける。

c 教育実習及び保育実習を通して、理論と実践の一体化を図り、教育・保育の現場で即戦力として通用する実践的能力を身につける。

(イ) 第一部保育士養成科

a 2年間のカリキュラムの履修を通し、保育者としての使命感と人間愛に支えられた知識及び保育の専門家としての能力を身につける。

b 音楽、造形及び身体等の表現を重視したカリキュラムの編成により、保育現場で必要とされる技能及びコミュニケーション能力を身につける。

c 保育実習を通して、理論と実践の一体化を図り、保育現場で即戦力として通用する実践的能力を身につける。

(3) 基本事項

ア 職業実践専門課程の認定課程及び高等教育の修学支援新制度の認定校としての認定要件を満たし、かつ、教育の質の保証を図る

イ 入学定員充足率 80%以上の維持

ウ 中途退学率各学科 5%以下の達成

(4) 重点事項及び具体的目標

ア 入学定員と収容定員の充足率 100%の達成

(ア) 設置学科毎の入学定員及び収容定員の見直し

(イ) 男女共学化の検討継続

(ウ) 入試制度の多様化

(エ) 校名変更による効果を学生募集活動に活用

(オ) 羽沢横浜国大駅の情報や新線開通による通学経路の多様化を広報

イ ICT化及びペーパーレス化の推進

(ア) 外部とのやりとりに関して ICT を活用し、業務効率化とペーパーレス化を推進

(イ) 郵便物や印刷物の削減

(ウ) ICT を活用した卒業生の就労状況調査等の実施

(エ) 教職員及び学生の ICT 機器の操作技術向上

ウ 2023年度から変更となる新教育課程の円滑な実施

(ア) 新教育課程のシラバスの Web による公開

(イ) 本校の独自科目「教育保育（保育）実地研究」の提携園との円滑な実施

(ウ) 教員の休講を抑制し、補講の削減並びに学生の出欠管理の厳格化

(エ) 教育課程の編成及び改定並びに職業実践教育の効果について在校生や卒業生に対するアンケート調査による検証

エ 保証人や卒業生等の結びつきの強化や地域住民と交流を推進

- (ア) 保証人や卒業生、同窓会との結びつきを深め、学生支援の強化
- (イ) 地域社会に愛され、信頼される学校づくりを推進
- (ウ) 卒業生や地域住民等への定期的な課外講座の開催
- (エ) 専任教員の知識、能力、強みを学外に発信するため、各方面へ積極的に派遣

2 育和幼稚園

(1) 教育方針

- ア 遊びを中心とした保育
- イ 子ども一人ひとりの善さを伸ばす保育
- ウ 主体的で対話的で深い学びにつながる保育

(2) 教育目標

- ア 遊びを生み出し、面白がり、夢中になって自ら創り出すことができる子ども
- イ 自分のことを大切にし、人の善さや思いやりに気づく子ども
- ウ 基本的な生活習慣と態度を身につけ、自ら考え、自信をもって行動しようとする子ども

(3) 基本事項

- ア 遊びを中心とした保育の充実
- イ 教育の質の向上と教育環境の整備
- ウ 利用定員と実園児数の乖離を縮小

(4) 重点事項及び具体的目標

- ア 保育の特色と園の強みを確立強化し、保護者にも就職活動中の学生、求職者や地域社会にもわかりやすく情報発信
 - (ア) 遊び中心の良さを伝える方法としてブログを活用
 - (イ) 定期的に外部講師による遊びを導入
 - (ウ) 空き教室を利用した課外講座等を実施することにより、園の強みを増やす取り組みを継続
 - (エ) 園庭や園舎を定期的に地域開放し、地域活動拠点施設として機能を拡充
 - (オ) 学園内の設置校及び設置保育所並びに園周辺施設との連携強化
 - (カ) 園が実施している横浜市型預かり保育等の各事業の情報を発信
- イ 教育の質の向上
 - (ア) 園内、園外研修の一層の充実
 - (イ) ICTの活用により業務の効率化とペーパーレス化の推進
 - (ウ) 入職5年目以下の教員の研修の充実と育成

- (エ) 学園内の設置校及び設置保育所との人事交流を検討
- ウ 安全・安心な教育環境の構築
 - (ア) ファシリティマネジメントによる園舎の改修改善・安全・衛生的な教育環境の整備
 - (イ) 園庭の活用方法の検討
 - (ウ) 農園を活用したさつまいも及び冬野菜の収穫と調理等食育の展開
 - (エ) 園バスの安全な運行と運転業務の外部委託継続
- エ 安定的な園児募集
 - (ア) 小規模保育施設との連携施設設定による園児の獲得と連携施設の新規開拓
 - (イ) 未就園児の活動や子育て支援を通しての広報戦略の継続と充実
 - (ウ) 実園児数に合わせた利用定員へ随時変更
 - (エ) 満3歳児クラスの設置検討
 - (オ) 空き教室を活用し、保護者の要望に合った課外講座の実施
 - (カ) 羽沢横浜国大駅周辺地域への広報活動

3 八幡橋幼稚園

(1) 教育方針

明るく、素直に、のびのびと主体的に過ごす中で豊かに生きるための基礎力が身につくようにします。また、「非認知能力」、「主体的、対話的、深い学び（アクティブ・ラーニング）」を重視します。

(2) 教育目標

健康な心と体を自ら育て、様々な人と関わり、何ごとにも好奇心を持って意欲的に取り組む

(3) 基本事項

- ア 遊びを中心とした保育の充実
- イ 教育の質の向上と教育環境の整備

(4) 重点事項及び具体的目標

- ア 保育の特色と園の強みを確立強化し、保護者にも就職活動中の学生、求職者や地域社会にもわかりやすく情報発信
 - (ア) Web による情報発信可能な環境を整備するため、ホームページの全面リニューアルを実施
 - (イ) 八幡橋幼稚園ブランドの確立と自園調理の給食、園バス、小規模保育施設の連携等園の強みを情報発信

(ウ) 園庭、園舎の狭さ等施設設備環境の弱さを補うため、学園内の設置校及び設置保育所との連携強化

イ 教育の質の向上

(ア) 園内、園外研修の一層の充実

(イ) ICT の活用により業務の効率化とペーパーレス化を一層推進

(ウ) 教職員の ICT 機器の操作技術向上するための研修の導入

(エ) 入職 5 年目以下の教員の研修の充実と育成

(オ) 園の環境が生き物や自然に触れる機会が少ないため、園外保育の充実

(カ) 学園内の設置校及び設置保育所との人事交流を検討

ウ 安全・安心な教育環境の構築

(ア) ファシリティマネジメントによる園舎の改修改善・安全・衛生的な教育環境の整備

(イ) 園庭とその周辺の教育的整備と安全対策

(ウ) 園バスの安全運行と運転業務の外部委託継続

(エ) 園の立地が河川の氾濫や津波への対応が必要とされる地域で消防計画や各種防災マニュアルの定期的な見直しを実施

エ 安定的な園児募集

(ア) 小規模保育施設との連携施設設定による園児の獲得

(イ) 未就園児の活動や子育て支援の活動を検討

(ウ) 公平な入園者選考方法の維持

4 うみの風保育園

(1) 保育理念

共に生き、共に育ち合う

(2) 保育方針

褒めて、認めて、励まして、しっかりと抱きしめ、受けとめる

(3) 保育目標

元気と笑顔、そして感謝する心

(4) 基本事項

ア 保育理念、保育方針及び保育目標に沿った保育の充実

イ 保育の質の向上と保育環境の整備

(5) 重点事項及び具体的目標

- ア 保育の特色と園の強みを確立強化し、保護者にも就職活動中の学生、求職者や地域社会にもわかりやすく情報発信
 - (ア) Web による情報発信可能な環境を整備するため、ホームページの全面リニューアルを実施
 - (イ) 外部講師の導入等により園の特色や強みを強化
 - (ウ) 園庭、園舎の狭さ等施設設備環境の弱さを補うため、学園内の設置校及び設置保育所との連携強化
- イ 保育の質の向上
 - (ア) 園内、園外研修の一層の充実
 - (イ) ICT の活用により業務の効率化とペーパーレス化の推進
 - (ウ) 入職5年目以下の職員の研修の充実と育成
 - (エ) 学園内の設置校及び設置保育所との人事交流を検討
 - (オ) 福祉サービス第三者評価の受審により PDCA サイクルによる改善
- ウ 安全・安心な保育環境の構築
 - (ア) ファシリティマネジメントによる園舎の改修改善・安全・衛生的な保育環境の整備
 - (イ) 市内有数の観光地で周辺環境は良好ではあるが、防犯上園庭とその周辺の安全対策の定期的な見直しを実施
 - (ウ) 園の立地が河川の氾濫や津波への対応が必要とされる地域で消防計画や各種防災マニュアルの定期的な見直しを実施
- エ 安定的な園児募集
 - (ア) 0歳児定員の維持又は廃止の検討継続
 - (イ) 地域交流や子育て支援の活動を検討
 - (ウ) 園の活動や取り組みを Web にて情報発信

5 にじの風保育園

(1) 保育理念

共に生き、共に育ち合う

(2) 保育方針

子どもたちが元々もっている自分で育つ力を大切に、「受けとめて、褒めて、認めて、励まして、しっかり抱きしめて」子どもの自立性、自主性を育てる

(3) 保育目標

- ア 自分で気づき、考えて行動する子ども
- イ 他人への思いやりと感謝の気持ちを持てる子ども

ウ 心も体も健康な子ども

(4) 基本事項

ア 保育理念、保育方針及び保育目標に沿った保育の充実

イ 保育の質の向上と保育環境の整備

(5) 重点事項及び具体的目標

ア 保育の特色と園の強みを確立強化し、保護者にも就職活動中の学生、求職者や地域社会にもわかりやすく情報発信

(ア) Web による情報発信可能な環境を整備するため、ホームページの全面リニューアルを実施

(イ) 外部講師の導入等により園の特色や強みを強化

(ウ) 近隣に競合他園が非常に多い地域なので差別化を図るため、日々の保育活動や地域交流の様子を情報発信

イ 保育の質向上

(ア) 園内、園外研修の一層の充実

(イ) ICT の活用により業務の効率化とペーパーレス化の推進

(ウ) 入職5年目以下の職員の研修の充実と育成

(エ) 学園内の設置校及び設置保育所との人事交流を検討

(オ) 福祉サービス第三者評価の受審により PDCA サイクルによる改善

ウ 安全・安心な保育環境の構築

(ア) ファシリティマネジメントによる園舎の改修改善・安全・衛生的な保育環境の整備

(イ) 園の立地が河川の氾濫への対応が必要とされる地域で消防計画や各種防災マニュアルの定期的な見直しを実施

エ 安定的な園児募集

(ア) 将来的に0歳児定員の維持又は廃止の検討

(イ) 子育て支援の活動を検討

(ウ) 園の活動や取り組みを Web にて情報発信

(オ) 小規模保育施設との連携施設設定による園児の獲得と新規連携施設の開拓

6 ひかりの風保育園

(1) 保育理念

共に生き、共に育ち合う

(2) 保育方針

子どもたちが元々もっている自分で育つ力を大切に、「受けとめて、褒めて、認めて、励まして、しっかり抱きしめて」子どもの自立性、自主性を育てる

(3) 保育目標

- ア 自分で気づき、考えて行動する子ども
- イ 他人への思いやりと感謝の気持ちを持てる子ども
- ウ 心も体も健康な子ども

(4) 基本事項

- ア 保育理念、保育方針及び保育目標に沿った保育の充実
- イ 保育の質の向上と保育環境の整備

(5) 重点事項及び具体的目標

- ア 保育の特色と園の強みを確立強化し、保護者にも就職活動中の学生、求職者や地域社会にもわかりやすく情報発信
 - (ア) Web による情報発信可能な環境を整備するため、ホームページの全面リニューアルを実施
 - (イ) 外部講師の導入や近隣の学園内設置校との連携により園の特色や強みを強化
 - (ウ) 羽沢横浜国大駅の商業施設内に認可保育園が開園予定であるため、園の情報発信を至急検討
- イ 保育の質向上
 - (ア) 園内、園外研修の一層の充実
 - (イ) ICT の活用により業務の効率化とペーパーレス化の推進
 - (ウ) 入職 5 年目以下の職員の研修の充実と育成
 - (エ) 学園内の設置校及び設置保育所との人事交流を検討
 - (オ) 福祉サービス第三者評価の受審により PDCA サイクルによる改善
- ウ 安全・安心な保育環境の構築
 - (ア) ファシリティマネジメントによる園舎の改修改善・安全・衛生的な保育環境の整備
 - (イ) 自治会と連携して園の周辺環境の改善のため、自治体への働きかけを実施
- エ 安定的な園児募集
 - (ア) 将来的に 0 歳児定員の維持又は廃止の検討
 - (イ) 地域交流、園庭開放及び子育て支援の活動を検討
 - (ウ) 園の活動や取り組みを Web にて情報発信
 - (エ) 小規模保育施設との連携施設設定を模索
 - (オ) 羽沢地区自治会との地域交流を検討

7 学園事務局

(1) 基本事項

- ア 学園の業務運営及び各設置校と設置保育所の業務運営支援業務を担い、学園全体の発展に寄与
- イ 収益事業の管理運営並びに収益事業から得られる収益によって経営基盤を強化

(2) 重点事項及び具体的目標

- ア 財源の安定的確保
 - (ア) 寄附金受入れの検討
 - (イ) 外部資金（国・地方自治体の補助金又は運営費）の獲得強化
 - (ウ) 募集活動強化による学生生徒等納付金収入の安定的確保
- イ 収支均衡の確保
 - (ア) 収容定員の80%でも経営可能となる体制の整備
 - (イ) 中長期的に学園全体の人件費比率の目標を65%以下と設定
 - (ウ) 早期退職制度等の導入による退職金規程の改正を検討
- ウ 環境の変化に対応できる教職員組織の構築
 - (ア) 年齢構成を勘案した新卒、中途の教職員採用
 - (イ) 非常勤講師数の抑制、削減
 - (ウ) 本学園の設置校及び設置保育所へ優秀な人材を確保するため、学生への独自奨学金の創設を検討
- エ ファシリティマネジメントによる施設設備の改修改善・安全・衛生的な環境の整備
 - (ア) 施設設備の機能向上、省エネ、維持費及び保守料等を考慮した整備、更新

以上